

12月16日、五霞中学校で

選挙啓発活動を行いました

町選挙管理委員会と五霞中学校が連携して、「選挙啓発講義」と「生徒会役員選挙（投票体験）」を行いました。

今回の活動を通して、近い将来選挙権を得ることになる生徒たちに、選挙の仕組みや投票手順、1票を投じることの大切さを伝えました。



【選挙啓発講義】

町選挙管理委員会事務局の書記が、各学年の生徒に対し、選挙権がない年齢のうちから、選挙の知識、関心を深め、投票意欲の向上を目指し、選挙についての講義を行いました。



講義を熱心に聞く生徒たち

【生徒会役員選挙(投票体験)】

来年度の生徒会役員を決めるため、全校生徒が、町で使用する本物の選挙機材（投票記載台、投票箱等）を使用し、実際の選挙制度に準じた投票を行いました。

また、町選挙管理委員会委員が投票管理者及び投票立会人を務めたことで、緊張感のある空間で、本番さながらの投票となりました。

〈投票用紙の交付〉

投票用紙自動交付機を使用し、生徒に投票用紙を交付しました。



緊張の面持ちで用紙を受け取る生徒

〈投票箱への投函〉

記載台で記入後、投票用紙を投票箱へ投函しました。



本番さながらに投票する生徒

明るい選挙啓発ポスターコンクールで優秀賞を受賞しました

明るい選挙推進協会主催の明るい選挙啓発ポスターコンクールにおいて、五霞西小学校3年生の長島龍紅輝さんが茨城県で入選され、優秀賞を受賞しました。



鈴木一正氏が選挙管理委員として総務大臣感謝状を受賞しました

昨年は、選挙制度130周年の記念の年で、多年民主政治の確立のため、選挙の啓発運動に尽力した方々に対し、感謝状が贈呈されました。

本町では、町選挙管理委員会委員長の鈴木一正氏が、総務大臣感謝状を受賞しました。

鈴木氏は、平成17年から選挙管理委員を務め、平成21年からは委員長として尽力されています。

